

平成29年度関東倶楽部対抗千葉第3会場予選競技 組み合わせ及びスタート時間表

(参加者 18倶楽部・144名)

期日：5月22日(月)

場所：カレドニアン・ゴルフクラブ

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	若菜 茂	千葉国際	原田 晃	袖ヶ浦	山田 浩司	グレンオークス	松下 宗嗣	カレドニアン
2	7:39	平山 格	成田ハイツリー	山本 浩一郎	姉ヶ崎	飯伏 修	かずさ	永山 勇	上総モナーク
3	7:48	江頭 幸雄	米原	杉本 博史	船橋	安室 伸一	キングフィールドズ	宮崎 英一	オーク・ヒルズ
4	7:57	石毛 昌則	新千葉	眞々田 恒久	紫	佐藤 浩市	麻倉	水田 文生	ブリック&ウッド
5	8:06	渡辺 良隆	白鳳	長尾 福治郎	成田GC	海老原 延廣	千葉国際	深澤 一三	グレンオークス
6	8:15	相原 一雄	かずさ	安井 勲	成田ハイツリー	小室 茂樹	米原	藤崎 隆	キングフィールドズ
7	8:24	桜井 延秋	新千葉	黄原 鐵夫	麻倉	川田 充利	白鳳	和田 博	袖ヶ浦
8	8:33	田淵 土志夫	カレドニアン	齋藤 芳英	姉ヶ崎	窪田 直利	上総モナーク	額賀 義朗	船橋
9	8:42	伊勢 晃一	オーク・ヒルズ	佐伯 輝夫	紫	茂呂田 雅幸	ブリック&ウッド	金子 泰雄	成田GC
10	8:51	原田 英治	船橋	上薨 健一	カレドニアン	小西 照郎	かずさ	内山 景志	千葉国際
11	9:00	塩田 哲夫	ブリック&ウッド	渋谷 重氏	新千葉	市田 雅亮	袖ヶ浦	藤井 孝夫	成田ハイツリー
12	9:09	片岡 弘幸	上総モナーク	四倉 次郎	キングフィールドズ	宮本 貴夫	紫	木内 宗三郎	白鳳
13	9:18	舘野 光夫	グレンオークス	佐久間 義雄	姉ヶ崎	細矢 雅光	米原	池田 正志	オーク・ヒルズ
14	9:27	古原 岳志	麻倉	横田 耕太郎	成田GC	河合 憲一	千葉国際	佐藤 文友	成田ハイツリー
15	9:36	阪田 哲男	袖ヶ浦	伊藤 和久	新千葉	西山 靖彦	白鳳	佐藤 晋介	米原
16	9:45	杉山 伸一郎	姉ヶ崎	鈴木 達	船橋	青木 正之	紫	松本 武夫	成田GC
17	9:54	似田 幹男	キングフィールドズ	笈川 猛	かずさ	宮下 宜嗣	グレンオークス	早川 亮	麻倉
18	10:03	佐々木 龍二	カレドニアン	衣笠 学	上総モナーク	椎名 勤	オーク・ヒルズ	中川 正弘	ブリック&ウッド

10番よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
19	7:30	中村 英明	千葉国際	堀内 和昭	姉ヶ崎	鈴木 正樹	キングフィールドズ	野口 道男	ブリック&ウッド
20	7:39	水上 晃男	袖ヶ浦	永野 雄亮	かずさ	内山 大介	オーク・ヒルズ	塩田 一史	白鳳
21	7:48	大島 明	グレンオークス	石田 哲次郎	上総モナーク	波多野 隆一	新千葉	勝田 兵吉	成田GC
22	7:57	松下 定弘	カレドニアン	田代 量裕	米原	窪田 新平	紫	佐藤 充利	成田ハイツリー
23	8:06	龍 健斗	船橋	吉田 大樹	麻倉	有馬 昌宏	千葉国際	宇野 肇	かずさ
24	8:15	門田 実	新千葉	柳澤 信吾	袖ヶ浦	江利川 吾郎	上総モナーク	岡安 映昌	紫
25	8:24	芝田 進弘	麻倉	坂上 晴由	米原	森本 正博	グレンオークス	森塚 実	カレドニアン
26	8:33	額賀 逸朗	船橋	品部 祐児	ブリック&ウッド	鶴野 登美男	成田ハイツリー	山田 伸夫	キングフィールドズ
27	8:42	堀口 勝巳	姉ヶ崎	安藤 浩司	白鳳	宮崎 公英	オーク・ヒルズ	石井 一久	成田GC
28	8:51	堀井 慎也	上総モナーク	深山 克己	千葉国際	浅見 友則	麻倉	中部 隆	袖ヶ浦
29	9:00	新井 勇司	米原	檜垣 有司	ブリック&ウッド	片岡 正治	グレンオークス	鈴木 克彦	船橋
30	9:09	谷口 誠敏	白鳳	平林 泰彦	カレドニアン	西野 英司	キングフィールドズ	馬目 時宗	成田GC
31	9:18	川崎 利彦	オーク・ヒルズ	齋藤 恭正	成田ハイツリー	傍島 伸之	姉ヶ崎	金岡 治久	新千葉
32	9:27	中島 孝之	かずさ	吉田 幸二郎	紫	牧長 一喜	千葉国際	瀬川 徹	米原
33	9:36	信岡 史将	成田GC	吉岡 康夫	白鳳	片岡 洋介	船橋	榎本 剛之	袖ヶ浦
34	9:45	久野 太辰	キングフィールドズ	津下 昭	グレンオークス	古澤 元	カレドニアン	前田 浩一	オーク・ヒルズ
35	9:54	彦坂 裕一	成田ハイツリー	大和久 成雄	新千葉	小杉 隆一	姉ヶ崎	平野 豪	紫
36	10:03	横山 真樹	かずさ	齋藤 正作	麻倉	関本 勝	上総モナーク	笹畑 浩樹	ブリック&ウッド

競技委員長 萩原謙二郎

平成 29 年度 関東倶楽部対抗千葉第 3 会場予選競技

開催日 : 5 月 22 日(月)

開催コース : カレドニアン・ゴルフクラブ

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2 打」とする。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)
ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
3. 修理地(規則 25-1)
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。
なお、4 番ホールのパッティンググリーン左にある構造物を含む区域はプレー禁止の修理地とする。
4. 動かさない障害物(規則 24-2)
 - (a) 排水溝
 - (b) 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
 - (c) 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)
5. コースと不可分の部分
 - (a) 樹木やその他の恒久的な物件に巻きつけたり、密着させてあるもの。
 - (b) ウォーターハザード内にある人工の壁や杭でできた構造物。
6. パッティンググリーン上で球が偶然に動かされること
規則 18-2, 20-1 は以下の通りに修正される。
プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーがプレーヤーまたはキャディーや携帯品によって偶然に動かされても罰はない。その球やボールマーカーはリプレースされなければならない。このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカーがパッティンググリーン上にあり、いかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。
注：パッティンググリーン上の球が風、水あるいは重力などの他の自然現象の結果として動かされたものと判断された場合、その球はその新しい位置からあるがままの状態プレーされなければならない。また、そのような状況で動かされたボールマーカーはリプレースしなければならない。
7. 電磁誘導カート用の 2 本のレール
電磁誘導カート用の 2 本のレールは、全幅をもってプレー禁止の修理地とする。ただし、スタンスのみが障害となる場合は、そのままプレーすることもできる。
8. ホールとホール間の白杭
4 番と 6 番ホールの間の白杭を結ぶ線を越えていった球は、球が白杭を結ぶ線の向こう側のコース上に止まっている場合でも、アウトオブバウンズの球とする。
9. 防球ネット
防球ネットに球が近接しているためにスタンスや、意図するスイングの区域の妨げになる場合、規則 24-2b(i)により処置するときは、その障害物の中や下を通さずに救済のニヤレストポイントを決めなければならない。
10. 高圧送電線
16 番ホールにおいて、球が高圧送電線に当たった場合は、そのストロークを取り消し、ゴルフ規則 20-5 にしたがって罰なしに再プレーをしなければならない。その球をすぐには取り戻せない場合は、別の球に取り替えることができる。

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(B)1a』を適用する(ゴルフ規則 176 ページ参照)。

4. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I(B)1b』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

5. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

6. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b,c,d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

険悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。

(3) プレーの中断と再開の合図について

プレーの即時中断 : 1 回の長いサイレン

プレーの中断 : 連続する 3 回の短いサイレン(繰り返し)

プレーの再開 : 2 回の短いサイレン(繰り返し)

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

7. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(B)5b』(ゴルフ規則 181 ページ参照)。

8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(B)2』を適用する(ゴルフ規則 179 ページ参照)。

9. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. 競技の条件 5 項において規制されるシューズ以外でもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。

2. 予備グリーンは定義上「目的外のパッティンググリーン」であり、球が目的外のパッティンググリーン上にある場合、プレーヤーは規則 25-3 に基づいて救済を受けなければならない。

3. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。

4. 競技委員会は規則 33-7 に基づき、すべての競技関係者、ギャラリーへの暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレーヤーを競技失格とすることができる。

5. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 8 コイン(240 球)を限度とする。

6. アプローチ・バンカー練習場は、自己の球を使用すること(1 人 3 個まで)。

距離表

HoleNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
AクラスYards	385	497	165	360	160	522	381	424	415	3309
BクラスYards	427	510	165	390	175	560	393	457	415	3492
Par	4	5	3	4	3	5	4	4	4	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
375	342	185	355	357	470	330	150	515	3079	6388
390	360	198	377	392	498	343	195	545	3298	6790
4	4	3	4	4	5	4	3	5	36	72

競技委員長 萩原謙二郎